

音ARを使った羊の追い込みのような間接的な道案内

情20-0433 宮上 莉奈
指導教員 米澤 朋子

1. はじめに

従来、目的地に行くためには、ナビゲーションアプリを使うことが多い。アプリケーションの多くは、視覚情報のみまたは視覚情報と聴覚情報が使われているが、すべて視覚情報に頼っているところが多い。その為、ナビゲーションシステムを使っている場合、必然と歩きスマホとなる瞬間がある。現在歩きスマホによる事故は増加している。

本研究では、歩きながらのスマートフォンの事故を減らし地図を読むことが苦手な人でも楽しんで目的地に向かうことができることを目的とした、視覚情報を使わないエンターテインメント性のある道案内システムを提案する。

2. システム

本システムのハードウェア構成は、Androidのスマートフォンとイヤフォンやヘッドフォンであり、ソフトウェアには、Unityを使用した。位置情報の取得には、スマートフォンのGPS情報とUnityのLocationServiceを使用し、国土地理院のAPIで現在地から目的地までの距離を計算して、音源の位置を決定する。使用する音については、怖さを感じるような音を使用する。

3. 検証

本稿で行った実験では、(1)音の種類、(2)音の聞こえ方、(3)目的地からの音の有無をの3要因8条件の被験者内実験計画を実施した。

4. おわりに

